

9月10日は下水道の日です。町田市の下水道の仕組みや役立つ情報などを紹介します。

No.9

下水道管は作ったらそれでおわり？



町田市は、1964（昭和39）年から下水道事業に着手して以来、約1,667kmの下水道管を整備してきました。それらの下水道施設は時間の経過とともに少しずつ傷んできています。今後も安心して下水道を使い続けていくためにどのように下水道管の点検や工事をしているのでしょうか。町田市の取り組みと現状をお伝えします！

～下水道管も歳を取る！～

下水道の健康管理

見まわり・点検・調査

マンホール蓋のガタつきや傷みなどがないか見まわりをします。

また、管内部の傷みを早い段階で発見するため蓋を開けて中を点検し、異常が見つければカメラを使いさらに詳しく調査します。



点検の様子



自走型カメラ

清掃・修理・改築

下水道管を健康な状態にするために、土砂を取り除き清掃します。

傷んだ下水道管の機能を回復させたり、地震に強い管にするために修理や改築を行います。



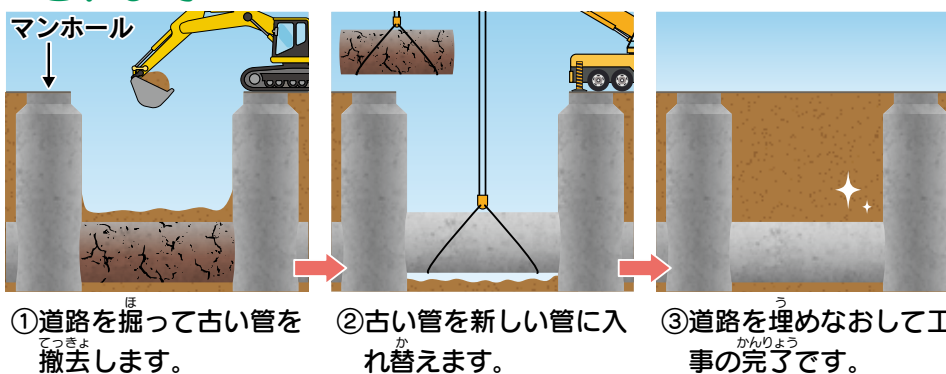
穴が開いた下水道管



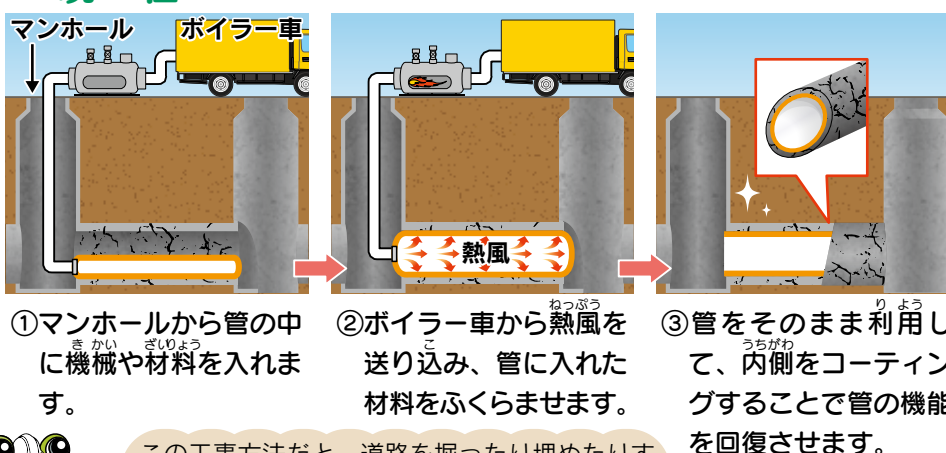
修理後の下水道管

工事の方法を見てみよう

これまで



現在



この工事方法だと、道路を掘ったり埋めたりする音もなく、短い期間で作業が終わるケロ！

建設から維持管理及び改築の時代へ

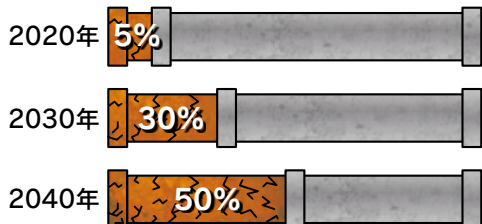
下水道事業着手から60年。汚水管の整備は概ね完了し、下水道人口普及率は99.0%に到達しました。下水道が広く普及した一方で、下水道管の老朽化という新たな問題が生じています。今後も安心して下水道を使い続けていくために、古い管を修理したり、改築（機能を向上させること）に取り組んでいかなければなりません。

下水道施設建設のために借り入れたお金（企業債）の残高は年々減少してきましたが、今後はこれまで整備した下水道施設の改築工事が本格化するため、その財源となる企業債残高の増加が見込まれます。

※企業債・・・施設の建設改良などに必要となる資金に充てるために借りるお金のこと。

下水道管の老朽化率

町田市では、2040年ころには半数の下水道管が使い続けられる年数を超えてしまうため、計画的に修理を続けています。



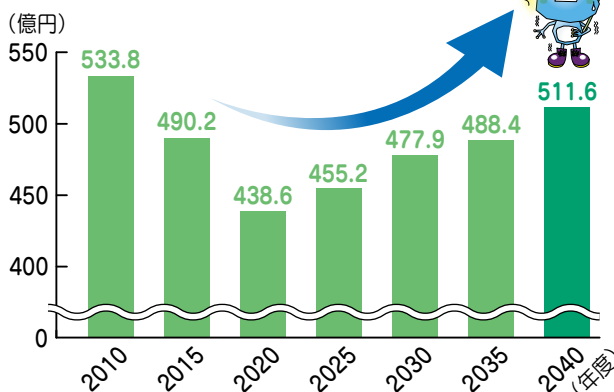
建設して50年を超える下水道管の割合

何もしなければ、2040年には今ある下水道管の半分が使い続けられる年数を超えてしまうから、計画的に修理を続けているケロ！



企業債残高の推移

2010年度～2040年度



※2022～2030年度の平均企業債借入額を2031年度以降も借入れた場合の推計値です。

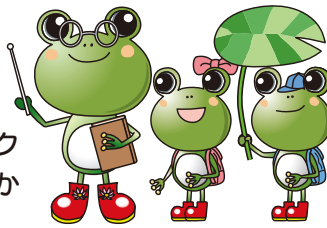
改築工事が本格化するから、企業債残高はこれから増えていくんだね。下水道事業を持続可能なものにするためには、みんなで負担していくことが必要ケロ。



町田市下水道「雨かえる」

下水処理場を見学してみよう！

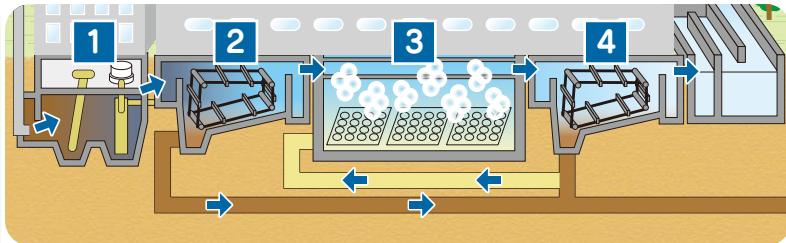
問い合わせ
水再生センター
☎720-1825



みんなが家で使ったトイレやお風呂の水やお店から出た汚れた水は、下水処理場へ運ばれます。町田市には、成瀬クリーンセンターと鶴見川クリーンセンターの2箇所の下水処理場があります。どちらの下水処理場でも、2022年3月から施設見学を再開しました。どんな仕組みで水をきれいにしているか実際に見てみませんか？

1 沈砂池

下水道管(汚水管)を通ってきた汚水は、沈砂池の機械で大きなゴミや砂などを取り除いているよ。



鶴見川クリーンセンターの施設を動画で紹介しています



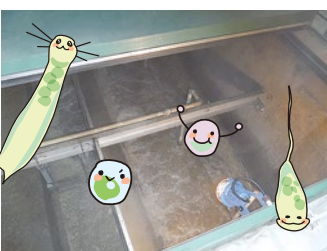
2 最初沈殿池

汚水をゆっくり流して、小さなゴミやドロを沈ませているよ！



3 反応タンク

水中で育つ微生物の働きで、水をきれいにしているよ！



4 最終沈殿池

きれいな水と分けられて底に沈んだ微生物やドロは、焼却処理されるよ。



施設見学のお知らせ

実際に施設の中を見るだけでなく、映像を見たり講義を受けたりすることもできます。また、汚れた水をきれいにするときに活躍する微生物について知ることもできます。

見学希望の方はQRコードを読み取ってね



下水道に流さないでください

問い合わせ
下水道管理課 ☎724-4330

トイレにトイレットペーパー以外のものを流したり、キッチンから油を流したりすると、詰まりや悪臭が発生するだけでなく、下水道管や下水処理場の故障の原因になります。下水道を大事に使いましょう。

下水道に流してはいけないもの



料理をした後の油の捨て方

不要な紙や布で油を吸い取るか、油を固める製品を使い、燃やせるゴミとして出してください。



油が詰まった下水道管の実際の写真です！



災害時、おうちのトイレが使えない！そんな時は……？

地震対策

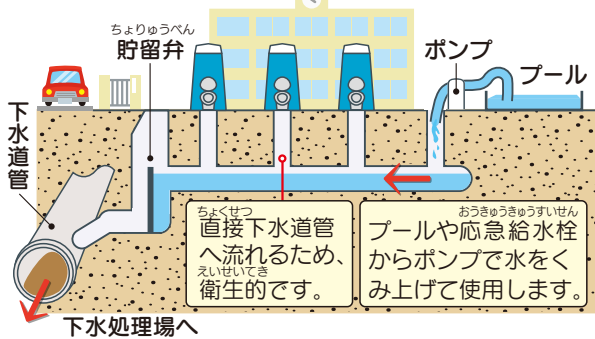
避難施設では

災害時に備え、小・中学校などに、断水や停電があっても使うことができるマンホールトイレの整備を進めています。

マンホールトイレの整備状況を公開しています。



マンホールトイレの仕組み(概要図)



YouTubeで
見てみよう！

町田市公式 動画チャンネル

マンホールトイレの使い方ははじめ、災害時に役立つ動画を掲載しています。

問い合わせ 下水道整備課 ☎724-4301

マンホールトイレは災害時でも簡単に設置できて、安心して使えるケロ!!



おうちの水はけが悪い！そんな時は…？

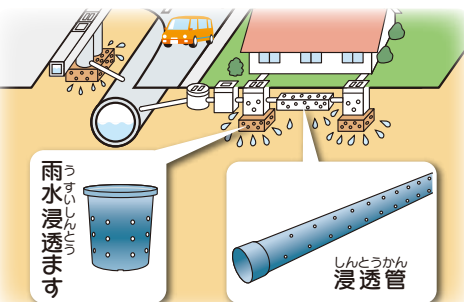
浸水対策

問い合わせ 下水道管理課 ☎724-4330

浸透設備設置に補助金を交付しています

「浸透設備」は、雨水を地中にしみ込ませる装置です。降雨時、庭の水たまりがなくなる効果があります。また、雨水による急激な川の増水を防ぐことにもつながります。

※補助金は、限りがありますので、早めにご相談ください。交付条件についてもご案内いたします。



「地図情報まちだ」で 下水道情報を見よう

問い合わせ 下水道整備課 ☎724-4301

「下水道台帳図」(町田市役所が管理している汚水管・雨水管の地図)や「汚水供用開始区域」(トイレやお風呂・キッチンなどから出る汚水を下水道に流せる区域)が確認できます。

スマホはこちらから

PCサイト

<https://machida.kukanjoho.jp/webgis/>

地図情報
まちだ



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

まちだ下水道通信は、環境に配慮した紙やインクを使用しています。